

患者さん中心の透析医療を追い求めて。

ONE!

Kokuradaichi hospital

2025

VOL. 025

NOVEMBER



ONE! 025

2025年11月14日

足からのばす健康寿命

小倉第一病院 思い出の一丁目一番地

私のONE!



事務管理部

井口 かおり

プロフィール

1981年入社、次長職を経て3年前より
ライフ中心に勤務している。勤続45年
目、小倉第一病院一筋

「第二のお家」私にとってずっと一番の職場です

1981年の春、小倉第一病院の前身である北九州クリニックに事務職員として入職しました。入職した頃は、職員数も全体で50名くらいで、事務職員（医事・経理）は5名でした。受付前を院長先生がランドセル姿で通っていた光景も、今では懐かしい思い出です。透析患者さんとの卓球大会や腎友会のバスハイクなど、患者さんとの交流がとてもあったことが思い出されます。職員同士もとても仲が良く、職場が楽しくて「第二のお家」のようでした。現在は主に職員に関する業務を担当しています。今では職員数が200名を超え、移転時には新しいシステム導入など大変なこともありましたが、頼もしい後輩と一緒に乗り越えることができました。これからも、患者さんを第一に考えて働く職員の皆さんを一番に思い、支えていきたいと思っています。



医療法人真鶴会 小倉第一病院

〒803-0846 福岡県北九州市小倉北区下到尾1丁目12-14
TEL:093-582-7730 FAX:093-592-7689

【今回の特集】小倉第一病院では、患者さん一人ひとりの足の状態を医学的に評価し、足そのものの治療だけでなく、靴やインソールなどの履き物まで含めた診療を行うことで地域の皆さんの足と歩行と健康を守る手助けを行い続けたいと考えています。

◎表紙イラストレーター／オカタオカ



| FOOT × SHOES |

靴

健康な足を育てるためには、子どもの頃から適切な靴を選び、それを正しく履くことが重要なのですが、靴を履く歴史が浅い日本では十分に理解されていません。服を買うのに身長だけで選ばないのと同様に、靴も足の長さだけでなく幅や甲の高さまで考慮して選ぶ必要があります。実際に足の痛みや変形で受診される患者さんの多くが、足に合っていない靴を履いていらっやいます。当院では患者さんの足型や症状に合わせた靴の提案や履き方指導を実施すると同時に、地域にお邪魔して足のトラブル、靴に関する講演や相談会などを行う啓発活動も行っています。



| FOOT × INSOLES |

インソール

足の構造や歩行のクセに合わせて作成するインソールは、足の機能を安定させる秘密兵器ともいえます。タコや魚の目、あるいは外反母趾のために痛くて歩けないといった症状の方も、足に合わせたインソールを作成することで、症状が和らぎしっかりと歩けるようになります。また、姿勢も安定するため転倒するリスクも減らすことが可能になります。当院では、専門の医療職である義肢装具士と提携して、患者さんごとの足の状態や生活背景に応じた履き物とインソールを提案・作成するとともに、長期間にわたってサポートすることで足の健康維持と健康寿命の延伸を目指しています。

HEALTHY LIFESPAN STARTING FROM YOUR FEET

足からのばす 健康寿命

靴・インソール外来の 取り組み

「人生100年時代」といわれる現代では、介護を必要とせずに過ごせる「健康寿命」をいかに延ばしていくかが重要視されています。自分の足で歩けることは、健康でいるためのまさに第一歩であり、その鍵を握るのが「足の健康維持」になります。小倉第二病院では、患者さん一人ひとりの足に応じた診療を通じて、歩行と人生を守るための支援を行っています。

